

令和3年実施 町政懇談会の記録 (05 子育て)

(朱書きは、後日回答するとしたもの及び補足して回答するものです。)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、令和3年12月末までの対応状況です。)	担当課等
鶴吉	11月20日	05 子育て	保育人材の確保	子どもを抱えている女性から保育士不足の話を聞く。義務教育だけでなく幼児教育も大切だと思うので、若い人たちが松前町で子育てをする上で様々なケアをしてもらえるよう、保育士の確保をお願いしたい。	子育て支援に関しては、松前町には妊娠から出産子育て期までサポートできる子育て世代包括支援センターがあり、お母様方に好評をいただいています。御意見のあった保育士不足については、募集してもなかなか応募してもらえない現状であり、引き続き確保に努めてまいります。 そうした中で、現保育所職員85人に面接を行い、保育現場の現状などを聞き取りし、事務作業の負担を減らすなどの改善を行いました。今後も保育現場の改善を行い、働きたいと思ってもらえるような環境づくりができるように、引き続き努力をしていきたいと思っております。	福祉課
恵久美	11月20日	05 子育て	保育士の確保	松前町は保育士が不足しており、子どもが通う保育所においても担任がいけない状況である。そうした状況で、岡田保育所や白鶴保育所を建て直し、新たに園児の定員を増やすと聞いているが大丈夫なのか。 千葉県の自治体では、新卒採用の保育士に30万円のお祝い金を渡すという取り組みを実施している。松前町でも保育士不足解消の対策をしてほしい。	保育士については、正規職員を募集した場合には応募があります。正規職員を雇用した場合には、定年まで雇用することとなります。少子化の中、今後も更に子どもが減少したとしても、解雇することはできません。 そのため、今後の子どもの数、保育のニーズを踏まえ、必要な人数の正規職員を募集していかなければならないと考えており、現在必要とする保育士については、任期の定めがある会計年度任用職員で補充することを考えています。 会計年度任用職員の募集をした場合には応募がなく、慢性的に保育士が不足する状況となっておりますが、現在の保育行政を取り巻く環境を考えると、会計年度任用職員の雇用による対応のほかないと考えます。	福祉課
恵久美	11月20日	05 子育て	ファミリー・サポート・センター事業	コロナ禍におけるファミリー・サポート・センターの利用について、咳や鼻水など風邪症状のある子や発熱をした子については、発熱から2週間はサポートが受けられないという制限が掛かり、困った人も多いと思う。 サポートする人に高齢者が多いためこのような制限を設けたと聞いたが、制限によって利用できなくなった人たちがどういうことで困ったのか、話を聞いてもらいたい。	ファミリー・サポート・センター事業については、サポートする方も町民でありますので、町は運営者として、感染予防対策を徹底しなければなりません。 利用する方、サポートする方双方の安全に配慮する必要がありますので、新型コロナウイルス感染症の感染疑いのある子どもの利用について制限することとしました。御理解ください。	子育て・健康課